

## 2020 年度事業報告書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

### 2020 年度 活動テーマ

#### 三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション —Innovation の芽を育てる—

今年度は、上記活動テーマのもと以下の内容を中心に活動を行った。

1. 将来をデザインし、共に創る「デザイン型共創社会」を見据え、ヒーブがリーダーとして発信していくことを意識しながら活動した。その一環として、ヒーブ Innovation シリーズおよび内閣府、男女共同参画推進連携会議と共催シンポジウムを開催し、東京・関西・九州の一体感醸成と協議会の認知度向上に寄与した。
2. 研究会推進グループは、活動テーマや会員ニーズを反映した月例研究会を企画・運営した。会員の能力・資質向上とネットワーク醸成を目的に、公開講演会(4回)、セミ講演会(4回)、会員交流会(1回)等を実施した。1月度は、国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業としてオンラインシンポジウムを開催し、協議会活動の周知に寄与した。
3. 組織の活性化を図るグループは、協議会の円滑な運営に向けた定款施行規則の改定と会員拡大に向けた活動(賛助個人会員の開設、企業への説明、公開講演会の案内、月例研究会の体験参加等)を積極的に展開した。
4. 広報グループは、協議会の価値・認知度を高めるため、定例活動、講演活動、表彰・マスコミ掲載等や『コロナ禍での生活者に役立つ情報発信』を、ホームページや Facebook 等を活用し効果的に発信した。1年間の活動については、広報誌「レポートヒーブ」に取りまとめ、会員企業へのフィードバックをはじめ、協議会の認知度向上や会員拡大に向けた情報発信に寄与した。
5. 調査グループは、「調査・生活者関連情報分科会」をマネジメントし、ヒーブ Innovation シリーズのチームラーニングを基にコロナ禍におけるコミュニケーションについて討議した。会員を対象に業務上におけるコロナ禍でのコミュニケーションの実態をアンケート形式で調査し、これからのコミュニケーションのあり方について考察を行った。
6. 関西支部は、5 月度より Zoom を活用した月例会の運営を行い、エリアに縛られない取り組みを積極的に行った。行政、企業、大学より講師を招き、消費者課題から経営に至るまで、包括的な学習機会を創出した。なかでも、オンライン工場見学はコロナ禍での最先端の事例となり、関連団体からの紹介依頼があった。
7. 九州支部は、ヒーブ視点を活かした「ビジネスセミナー(ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー)」を4回行い会員相互のコミュニケーションの深化を図る活動やスキルアップ研修等、活力ある組織づくりへと繋がる取組みに尽力した。
8. 行政の委員会や会議、自治体・大学での講演について、理事を中心に積極的に派遣した。(計 38 回)
9. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、Web 会議サービス(Zoom)を用い、オンラインで理事会開催および月例研究会等の運営を行った。
10. 事務局については、在宅勤務を導入し、業務効率化を推進する等、会員活動を充実させるべく最適化を図った。

年間テーマにもとづいて月例研究会・分科会を開催し、会員が協議会の運営や研究活動に主体的に携わることで、東京・関西・九州が一体感を持って活動することができた。

2020 年度代表理事 吉村 美衣子

## I. 2020年度事業実績

### 【グループ活動(東京本部)】

#### 1. 企画グループ

代表理事の諮問機関として、協議会運営が円滑かつ効果的に行われるよう努めるとともに、行政・他団体等と積極的な情報交換を行い、協議会の活動を社会にアピールした。

#### (1) 理事会の開催

Web 会議サービス (Zoom) を用いて開催し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わることを確認し、議事に入った。

理事会	4月17日(金)	5月8日(金)	6月5日(金)
	7月10日(金)	8月7日(金)	9月8日(火)
	10月6日(火)	11月10日(火)	12月10日(木)
	1月12日(火)	2月9日(火)	3月9日(月)
	準備理事会	3月23日(火)	

#### (2) 生活者・企業・関連団体等への情報発信

協議会が作成した冊子等を活用し、生活者・企業・行政の目指すべき方向性や具体アクションについて、講演会や Facebook 等を通じ情報発信を行った。

#### (3) 行政・関連団体等が主催する行事への参画

以下のとおり、行政の委員会や会議、関連団体のシンポジウム等へ、理事・監事が中心に参画した。

実施日	内容	主催	エリア	出席者
5月22日(金)	第1回消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
6月10日(水)	第1回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
6月23日(火)	第2回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
6月24日(水)	第2回消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子
7月14日(火)	第3回消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
8月27日(木)	神戸市消費生活会議	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
8月31日(月)	第4回消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
9月4日(金)	第3回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
9月18日(金)	男女共同参画推進連携会議 第1回「経済分野における女性の活躍促進」チーム会合	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
10月13日(火)	男女共同参画推進連携会議全体会議	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
10月19日(木)	第28回消費者教育推進会議	消費者庁	東京	理事 藤脇智恵子
10月28日(水)	ACAP 創立40周年記念シンポジウム	消費者関連専門家会議	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
11月9日(月)	昭和女子大創立記念式	昭和女子大学	東京	代表理事 吉村美衣子

11月9日 (月)	堺市プロポーザル方式による 委託業務事業者選定委員会	堺市	関西	関西支部長 木谷あゆみ
11月11日 (水)	神戸市消費生活会議	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
11月17日 (火)	第4回キャッシュレス決済の中小店舗への 更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
12月12日 (土)	全国消費生活相談員協会関西支部交流会	全国消費生活相談員協会	オンライン	副代表理事 鈴木聖子
1月14日 (木)	ACAP 創立40周年記念式典 &新春講演会	消費者関連専門家会議	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 九州支部長 難波裕扶子
1月18日 (月)	堺市プロポーザル方式による 委託業務事業者選定委員会	堺市	関西	関西支部長 木谷あゆみ
1月26日 (火)	第5回キャッシュレス決済の中小店舗への 更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
2月25日 (木)	ACAP 消費者志向経営推進 シンポジウム	消費者関連専門家会議	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 理事 脇田 真知
3月1日 (月)	男女共同参画推進連携会議全体会議	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
3月15日 (月)	日経SDGsフォーラム特別シンポジウム 消費者共創会議	日本経済新聞社 消費者庁	オンライン	代表理事 吉村美衣子 理事 脇田真知
3月18日 (木)	神戸市消費生活会議	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
3月22日 (月)	男女共同参画推進連携会議 第2回「経済分野における女性の活躍促 進」チーム会合	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
3月24日 (水)	第5回消費者志向経営の推進に 関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美

#### (4) 行政機関との連携

- ・消費者庁とは、消費者志向経営推進組織メンバーとしての活動、東京の月例研究会における消費者白書の解説（消費者調査課）ならびに消費者基本計画の解説（消費者政策課）、「第4期消費者基本計画『工程表』素案に関する意見募集について」への協議会としての意見の提出、消費者教育推進会議への理事派遣等、継続的な連携を行っている。
- ・内閣府とは、男女共同参画推進連携会議議員としての参画、「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」を通じた内閣府、男女共同参画推進連携会議とのシンポジウム共催等を通じ、連携を深めている。
- ・経済産業省とは、キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会への理事派遣、東京の月例研究会におけるキャッシュレス推進に関する講演等、連携を行っている。

#### (5) 税理士訪問・相談

10月12日、3月12日に染谷税理士を訪問し、会計および事業活動の進捗状況を報告し、会計の適正運用について確認・相談を実施した。

## 2. 研究会推進グループ

会員の能力・資質の向上およびネットワーク醸成に向け、以下の取り組みを通じて会員の積極的な参画意識を高め、協議会活動のメリットを実感するとともに、会員相互のコミュニケーション強化・支援を図った。

### (1) 2020年度(第18回)総会・公開講演会・情報交換会の運営

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、公開講演会・情報交換会の開催を中止した。

総会については、【グループ活動】3. 組織の活性化を図るグループ(1)を参照。

## (2)月例研究会の運営

- ・活動テーマにもとづき、①公開講演会(7月・9月・12月・3月)②セミ講演会(6月・10月・11月・2月)③会員交流(8月)等のテーマを選定し、会員ニーズを反映しながら講演内容の充実を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、オンライン(Zoom)開催を中心とした運営に変更した。
- ・ヒーブ Innovation シリーズ(全4回)を連続講座として開催し、年間を通じて同一テーマについて学習した。
- ・会員外へのヒーブ活動の周知を目的とし、月例研究会のFacebook記事を作成し、発信した。
- ・協議会活動への周知を目的とし、一般の方も参加できる公開講演会を適宜実施した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、分科会持ち回りで月例研究会のレポートを作成し、ホームページで発信した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、講演会・分科会活動の動画撮影し、YouTubeにて配信した。

### 【月例研究会詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月	5月度 月例研究会	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言のため中止	—
2	6月30日(火) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	6月度 月例研究会	◆分科会活動 キックオフミーティング ◆セミ公開講座 ①「第4期消費者基本計画」について 講師：消費者庁消費者政策課長 内藤茂雄氏 ②「令和2年版 消費者白書」について 講師：消費者庁参事官(調査・物価等担当)大森崇利氏	分科会：34名 セミ公開講座：72名
3	7月30日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	7月度 月例研究会	◆公開講座 「ヒーブ Innovation シリーズ」DAY1 「幸せ視点の経営」～本質的な幸せ/つながりの科学 講師：ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部 (株)ループス・コミュニケーションズ代表取締役 斉藤徹氏	講演会：66名
4	8月20日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	8月度 月例研究会	◆正会員限定講座 With コロナ時代のオンラインファシリテーション術 講師：グラフィックコミュニケーター 本園大介氏 ◆分科会活動	集中分科会：38名
5	9月17日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	9月度 月例研究会	◆公開講座 「ヒーブ Innovation シリーズ」DAY2 「幸せ視点の経営」～共感を育む対話の技術 講師：ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部 (株)ループス・コミュニケーションズ代表取締役 斉藤徹氏	講演会：53名
6	10月19日(月) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	10月度 月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 証券監視委中期活動方針(第10期)及び安定的な資産形成に向けて(NISA 制度等) 講師：証券取引等監視委員会 加藤さゆり氏 金融庁総合政策局総合政策課 課長補佐 柴田美樹氏	分科会：35名 セミ公開講座：39名
7	11月26日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	11月度 月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 ①気候変動に伴う災害リスクの高まりと企業の備え 講師：(株)ウェザーニューズ 陸上気象事業部 松井友美氏 西山彰人氏 ②「レジリエンスな社会へ」 講師：損害保険ジャパン(株) ビジネスデザイン戦略部 部長 木村彰宏氏	分科会：31名 セミ公開講座：32名
8	12月10日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	12月度 月例研究会	◆公開講座 「ヒーブ Innovation シリーズ」DAY3 「幸せ視点の経営」～リーダーシップの技術 講師：ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部 (株)ループス・コミュニケーションズ代表取締役 斉藤徹氏	講演会：50名

9	1月21日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA ホール	公開シンポジウム	◆公開シンポジウム 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業 ポストコロナの ” 進化する幸せ組織 ” の起点になろう！ 講師：ビジネス・ブレークスルー大学経営学部 (株)ループス・コミュニケーションズ代表取締役 斉藤徹氏 パネリスト： (株)dot /チーム dot 代表 富田侑希氏 アサヒ飲料(株) マーケティング本部 宣伝部 副部長 菅根秀一氏 (一財)サンスター財団 企画室/日本ヒーブ協議会 理事 脇田真知 グラフィックレコーディング： グラフィックコミュニケーター 本園大介氏	シンポジウム： 138名
10	2月24日(水) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	2月度 月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 キャッシュレス推進の現状と今後の展望について 講師：経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ キャッシュレス推進室 室長 西川奈緒氏	分科会：31名 セミ公開講座： 48名
12	3月18日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険 (相)MYPLAZA 会議室	3月度 月例研究会	◆公開講座 「ヒーブ Innovation シリーズ」 DAY4 「幸せ視点の経営」～未来の組織/インサイドアウト 講師：ビジネス・ブレークスルー大学経営学部 (株)ループス・コミュニケーションズ代表取締役 斉藤徹氏	公開講座：54名 会員交流会：32名

### (3)分科会の運営

2020年度は「ヒーブ Innovation シリーズ」の実施に伴い、限られた時間での分科会活動であったが、下記4つの分科会に分かれ、異業種交流の特徴を活かした情報交換や議論を積極的に行った。

- ① お客様対応を考える分科会
- ② 調査・生活者関連情報分科会
- ③ 商品・サービス研究分科会
- ④ 月例会企画・運営分科会

## 3. 組織の活性化を図るグループ

協議会の基盤整備ならびに会員の積極的な活動参画に向けて以下の活動に取り組んだ。

### (1)2020年度(第18回)総会の運営

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、Web 会議サービス(Zoom)を用いて定時社員総会のみ開催した。なお、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、一堂に会すると同等に適時的確に意見表明が互いに行えることを確認して開催した。

役割		担当
司会	総合司会	藤脇智恵子 第一生命保険(株)
議長団	議長	鈴木聖子 明治安田生命保険(相)
	書記	中村尚美 日新製糖(株)
報告者	2019年度事業報告	2019年度代表理事：梶原織梨江 日本生命保険(相)
	2019年度決算報告	2019年度会計：中村さやか 花王(株)
	監事による事業及び会計監査報告	監事：脇田真知 (一財)サンスター財団 監事：林真由美 アサヒビール(株)
	2020年度役員選任	選挙管理委員長：宮木由貴子 (株)第一生命経済研究所
	2020年度事業計画	2020年度代表理事：吉村美衣子 損害保険ジャパン(株)
	2020年度予算計画	2020年度会計：篠かおり アフラック生命保険(株)

## (2) 会員の管理と拡大

- ・ 賛助個人会員を創設し、新たな会員拡大の取り組みをした。
- ・ 異業種交流のメリットを活かすため、6月に会員名簿の情報更新を行った。併せて、会員の保有資格や特技等の調査を行い、会員の推薦・講師派遣に向けての会員データ構築を継続した。

## (3) 会員継続および新規加入への働きかけ

- ・ 協議会の活動について説明し、会員継続および新規加入等の働きかけを積極的に行った。
- ・ 総会やシンポジウムに参加いただいた企業を中心に、新規加入に向けたフォローを行った。
- ・ (賛助)会員企業に対して、活動への理解を得て継続を依頼した。

## (4) 定款施行規則の改定

- ・ 第1条(会員の種別および資格)(2)個人会員、第3条(会員の特典)表1、表1\*3修正、表\*9追加、第4条会費(3)賛助会員修正、第12条監事の選出(2)任期を修正し、定款施行規則(第19版)を2020年4月17日に発行した。
- ・ 第1条(会員の種別および資格)(4)特別会員を修正し、定款施行規則(第20版)を2020年6月5日に発行した。
- ・ 第9条(選挙管理委員会の設置)(2)選挙管理委員会の委員に関する事項を修正し、定款施行規則(第21版)を2020年9月8日に発行した。
- ・ 第8条(退会)(3)を修正し、定款施行規則(第22版)を2020年11月10日に発行した。
- ・ 第10条(代表理事の選出)(4)選挙、第11条(理事の選出)(5)選挙を修正し、定款施行規則(第23版)を2020年12月10日に発行した。

## (5) 会員へのガイダンス

協議会に関する会員の理解を深める目的で、6月度月例研究会のキックオフミーティングにおいて、協議会の概要、活動テーマ、スケジュール等を代表理事より説明した。

## (6) 理事会だよりの発行

理事会の議題の中からトピックスをまとめ、会員に報告した。

## (7) 理事・監事選挙

- ・ 2021年度役員選出のための選挙管理委員会を発足させ、選挙活動が滞りなく進むよう補佐した。
- ・ Web投票を導入し、コストや作業軽減にも貢献した。

### 【選挙管理委員会】

	支部	氏名	会社名
委員長	九州	花田 泉	クリエイティブオフィスビーンズ (株)第一生命経済研究所
委員	東京	宮木由貴子	

- ・ 選挙の結果、代表理事候補者1名、留任理事候補者6名、新任理事候補者2名、留任監事候補者1名が信任された。

## 4. 広報グループ

協議会の価値・認知度を高めることを目指し、以下の広報活動に取り組んだ。

### (1) 「レポートヒーブ」「What is HEIB?」の発行

機関誌「レポートヒーブ」を発行し、1年間の活動報告を行った。また、「What is HEIB?」を更新し、会員だけでなく非会員企業へのPRに活用することができた。

### (2) ホームページ・Facebookの運営

より効果的かつタイムリーな情報発信を目的に、ホームページとFacebookを活用して協議会の認知度向上や会員拡大に向けた取り組みを行った。Facebookでは、会員企業からコロナ禍での生活者に役立つ情報を募集し、発信も積極的に行った。

#### <ヒーブNEWS・お知らせ発行(ホームページ)>

##### 【タイトル】

<2020年4月30日>正会員の宮木由貴子さんが、令和2年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました

### (3) 講演会等

以下のとおり、自治体・大学への講演会等へ講師を派遣した。

実施日	主催	講演テーマ	講師
6月7日(木)	神戸市 関西学院大学 経済学部	関西学院大学経済事情E「市場経済と消費者問題」第10講 企業と生活者をつなぐ ～消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて～	関西支部長 木谷あゆみ
9月13日(日)	一般財団法人大阪府 男女共同参画推進財団	女子高校生ガールアップセミナー To All Girls! 自分らしさって何? 動画を見て考えよう	関西支部会員 大道歩美
9月16日(水)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座 応用講座「消費者教育の基礎理解②企業活動からみる」 企業の消費者教育活動について	理事 藤脇智恵子
10月25日(日)	一般財団法人大阪府 男女共同参画推進財団	女子高校生ガールアップセミナー 自分らしくいるために必要なこと	関西支部会員 大道歩美
11月8日(日)	一般財団法人大阪府 男女共同参画推進財団	女子高校生ガールアップセミナー	関西支部会員 堀田由実
11月15日(日)	一般財団法人大阪府 男女共同参画推進財団	女子高校生ガールアップセミナー 羽ばたけガールズ	関西支部会員 大道歩美
11月29日(日)	一般財団法人 日本産業協会	2020年度消費生活アドバイザー資格試験 第2次試験 面接委員	関西支部長 木谷あゆみ
12月1日(火)	宮日広親会	宮崎日日新聞社の広告主でつくる 宮日広親会の実務者セミナー 「SDGs コミュニケーションははじめませんか?」	九州支部長 難波裕扶子
12月5日(土)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座 企業×学生交流会～ワークショップ編 第1回 衣食住 With コロナ時代に私たちはどのような消費活動を選ぶのか?	理事 藤脇智恵子
12月13日(日)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座 企業×学生交流会～ワークショップ編 第2回 IT/生活環境/観光 With コロナ時代に私たちはどのような消費活動を選ぶのか?	理事 藤脇智恵子
12月14日(月)	神戸市 神戸学院大学	神戸学院大学「現代の社会(消費者問題)」第12講 生活者と企業をつなぐ ～消費者市民社会・消費者志向経営の実現に向けて～	関西支部長 木谷あゆみ
3月20日(土)	株式会社AVC 放送開発・ 株式会社JTB 宮崎支店・ 宮崎大学	2020-2030 MIYAZAKI SDGs ACTION	九州支部長 難波裕扶子

<出版物・印刷物>

名称	発行年月	発行部数	内容
レポートヒーブ 79号	2021年4月	1,000	東京・関西・九州の会員コメントや写真を掲載し、当協議会の年間活動報告をわかりやすく紹介
What is HEIB?	2021年4月	1,000	当協議会の活動内容や入会案内等を掲載

<マスコミ等記事掲載【所信表明関連】>

新聞名・誌名	社名・団体名	掲載日	タイトル
消費と生活(No357)	(株)消費と生活社	2021年1・2月号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2021年1月1日号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子
日本消費経済新聞	日本消費経済新聞社	2021年1月1日号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子 関西支部長 木谷あゆみ 九州支部長 難波裕扶子

<マスコミ等記事掲載【その他】>

新聞名・誌名	発行者	掲載日	タイトル
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2020年7月1日号	「消費者問題はいま 提言二〇二〇」
現代消費者法(No49)	民事法研究会	2020年12月15日号	高望広論「生活者と企業が共に創る社会をめざして」
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2021年2月1日号	日本ヒーブ協議会「共創」掲げオンラインシンポ 内閣府と連携、消費者と行政の三位一体社会提言
消費と生活(No358)	(株)消費と生活社	2021年3・4月号	ポストコロナの進化する 幸せな組織 内閣府、ヒーブ共催シンポジウム

5. 調査グループ

今年度は分科会活動内でヒーブ Innovation シリーズのチームラーニングを基に、まずグループ内において心理的安全性を高め、オンライン(Zoom)開催でも討議が活発に行われる場作りを試みた。その後、コロナ禍におけるコミュニケーションについて討議し、日本ヒーブ協議会会員を対象に業務上のコロナ禍でのコミュニケーションの実態をアンケート形式で調査し、これからのコミュニケーションのあり方について考察を行った。

(1) 活動形態

「調査・生活者関連情報分科会」として活動を行った。

(2) 活動内容

実施日	内容
8月20日(木)	<分科会活動> ヒーブ Innovation シリーズチームラーニング、
10月19日(月)	<分科会活動> ヒーブ Innovation シリーズチームラーニング、 心理的安全性の高め方及びコミュニケーションディスカッション
11月26日(木)	<分科会活動> コミュニケーションディスカッション
2月24日(水)	<分科会活動> ヒーブ Innovation シリーズチームラーニング、 コミュニケーションディスカッション

【支部活動】

1. 関西支部

今年度の活動テーマにもとづき、月例研究会・公開講演会・企業見学会等を通じて、会員が将来を見据えて次の行動を考え、より良い消費社会を描けるような活動に取り組んだ。



年頭に国内の消費者運動の先駆けとなった神戸市から講師を招き、消費者運動を歴史的背景から学習し、会員間で意見交換ならびに現代の消費者問題について議論を広げた。その後、企業が消費者に寄り添うために取り組んでいるCSR活動事例を学んだ。企業見学会では、環境問題に取り組んでいる中小企業の施設見学をオンラインで行い、再生紙について理解を深めた。初のオンライン工場見学は、関西支部会員だけでなく、全国から多くの方に参加いただき、関係団体より紹介依頼があるなど、充実した内容の回となった。また、次年度以降の新たな取り組みの先駆けともなった。支部大会では、組織が持続するためには常に変革する必要があることを過去の歴史的背景から学び、理解を深めた。年間を通じ、生活者の視点、企業の視点の双方でいかに良い社会を築き上げることができるのかを模索した。

ヒーブ視点での消費者教育では、「産・官・学・消」の産業界の立場から、大阪府・兵庫県・滋賀県等関西支部エリアの各地で講義を行った。

【関西支部理事】

支部長 木谷あゆみ イカリ消毒(株)

<活動実績>

(1)月例研究会活動

① 月例研究会

- ・ヒーブとして求められる資質(現状把握力・問題発見力・判断力、問題解決力・プレゼンテーション力等)と能力の向上を目指し、講演会、企業見学会、スキルアップセミナーをバランスよく実施した。
- ・6月の公開講演会、10月の企業見学会においては、上司・同僚や他団体から、多くの方に参加いただき、協議会への理解を深めていただくとともに、交流の機会を創出した。

② 運営制度

- ・オンライン(Zoom)中心の開催となったため、理事が中心となって運営した。
- ・Webアンケートの導入により、運営の簡素化を図った。

③ 月例研究会の記録

- ・開催レポートやアンケート結果等を会員に報告し、研究会活動で得た情報の共有・定着を図った。

④ ディスカッション

- ・協議会活動を通じて、会員一人ひとりがさらなるレベルアップ・スキルアップを図るため、3月の月例研究会では、今年度の振り返りと次年度の活動計画・運営方法について積極的にディスカッションを行った。

【月例研究会詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月13日(水) オンライン(Zoom)	関西支部 キックオフ ミーティング	◆ガイダンスミーティング ◆情報交換会	9名
2	6月16日(火) オンライン(Zoom) チサンホテル神戸	6月度 月例研究会	◆講演 「消費者運動の歴史と意義から“生活者”を考える」～主体的、社会的な消費行動がとれる「自立した消費者をめざして」～ 講師：消費者教育アドバイザー 荒木武文氏	11名
3	7月15日(水) オンライン(Zoom) ドーンセンター	7月度 月例研究会	◆講演 「飲食業で初、省エネ機器開発で経済産業大臣賞」 ～経験と勘から脱却しデータに基づいたプロジェクトの成功への道～ 講師：株式会社トリドールホールディングス CSR推進室 室長 大下浩平氏	23名
4	10月7日(水)	10月度月	◆講演会「古紙を活用した循環型環境配慮システム」～身近にあ	講演会 56名

	オンライン(Zoom) 大和板紙(株)工場	例研究会 企業見学会	る紙パッケージのライフサイクルを学ぶ～ 講師：大和板紙株式会社 代表取締役社長 北村貴則氏 ◆見学会	見学会 56名
5	11月11日(水) オンライン(Zoom) 神戸市消費生活センター	関西支部大会	◆講演会「組織変革に潜む罣～あなたの職場の固定観念は何か～」 講師：同志社大学大学院ビジネス研究科 教授 加登豊氏	53名
6	3月3日(水) オンライン(Zoom)	関西支部 交流会	◆2020年度活動報告と次年度計画	6名

## (2) 広報活動

他団体・行政・大学との交流や関連団体等と協働しながら当協議会の情報発信や消費者教育活動等を行った。

## (3) 組織活動

### ① ガイダンスミーティング

・5月に新入会員を対象にガイダンスミーティングを実施し、当協議会についての理解を深めた。

### ② 振り返り

・今年度の活動や運営について良かった点と課題を話し合い、会員の負担軽減に向けた改善を行った。

### ③ 情報交換会

・5月キックオフミーティングおよび3月支部交流会において会員間の交流を図った。また、月例研究会において参加企業および関連団体との交流を図った。

## (4) 行政・関連団体の主催する行事等への参画、講演会への講師派遣

行政の委員会・会議、関連団体の会合への参加、自治体・大学の講演会等へ講師を派遣した。

詳細については、【グループ活動】1. 企画グループ(3)、4. 広報グループ(3)を参照。

## (5) 今後の課題

- ① 運営において、会員の負担軽減と会員所属企業へのより効果的な成果のフィードバックを目的に、レポート内容の見直しを行う。
- ② 月例研究会の開催日は年度初めに年間計画を策定し、参加率の向上を目指す。
- ③ 6月には、会員お仕事紹介や情報交換会の実施とマニュアル等の運営方法の共有を行い、会員同士の連携強化を図る。
- ④ ヒーブOG宛に公開講演会やシンポジウム等を案内し、参加者数向上と会員拡大を図る。
- ⑤ 関連団体と連携し、参加者の増加を図り、関西支部の活動を活性化する。

## 2. 九州支部

今年度の活動テーマにもとづき、ヒーブ視点と九州支部の強みを活かした「ビジネスセミナー（ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー）」を一般の方々も参加できる公開講演として、年間を通じてオンラインで開催し、会員の資質向上と九州支部の知名度向上に努めた。いずれも今の時代に即した内容、これから必要な知識や情報、スキルであり、会員のみならず会員企業の上司同僚や一般参加の方々より高い評価をいただくことができた。

運営は全てオンラインであったが、参加機会の創出により東京・関西との連携と、九州支部会員相互のコミュニケーションを深め、活力ある組織づくりが実現できたと感じる。

【九州支部理事】

支部長 難波裕扶子 南日本ハム(株)

<活動実績>

(1)公開講座・ヒーブセミナー

- ・ヒーブ視点を活かした「ビジネスセミナー（ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー）」を4回行い、三位一体のデザイン型共創社会にむけた具体的なアクションが起こせるよう、会員のみならず会員企業の従業員の能力・意識開発育成を目的とした活動を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、全てオンライン(Zoom)開催を中心とした運営に変更した。
- ・協議会活動への周知を目的とし、一般の方も参加できる公開セミナーとして実施するよう意識した。
- ・九州の大学教授や企業経営者に講師としてご登壇いただき地方から発信したことで、ヒーブ九州支部の認知度向上を図った。

(2)月例研究会

東京・関西の月例研究会のオンライン(Zoom)での受講が可能となり、支部会員も積極的に参加できる環境となった。これにより、学びの機会を得ただけでなく東京や関西の会員との交流が深まった。

【月例研究会詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	7月29日(水) オンライン(Zoom)	ヒーブ セミナー	◆2020年ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー vol.1 <SDGs×教育×ビジネスの創出> 第一回 SDGsとひとづくり 講師：福岡教育大学 教授 石丸哲史 氏	14名
2	8月12日(水) オンライン(Zoom)	ヒーブ セミナー	◆2020年ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー vol.1 <SDGs×教育×ビジネスの創出> 第二回 持続可能を追究するビジネスの創出 講師：福岡教育大学 教授 石丸哲史 氏	12名
3	10月27日(火) オンライン(Zoom)	ヒーブ セミナー	◆2020年ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー vol.2 <人と人をつなぐファシリテーション術> 講師：九州大学大学院統合新領域学府客員准教授 NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー 加留部貴行 氏	24名
4	11月30日(月) オンライン(Zoom)	ヒーブ セミナー	◆2020年ヒーブ・ハピネスビジネスセミナー vol.3 <窓をあけることからはじめるイノベーション> ～私たちからはじめる、新しい働き方、新しい日常、新しい価値観とは～ 講師：KIGURUMI.BIZ 株式会社 代表取締役 みやざき女性の活躍推進会議共同代表 加納ひろみ 氏	22名

(3)会員交流・運営

オンライン(Zoom)を活用し、支部会員全員で適時運営委員会を開催し、知恵を出し合うことで会員同士の結束を図った、デジタルコミュニケーションにチャレンジすることで、会員それぞれの事業活動へ活かすことに貢献した。

(4)行政・関連団体の主催する行事等への参画、講演会への講師派遣

各団体等へ講師を派遣した。

詳細については、【グループ活動】 1. 企画グループ(3)、4. 広報グループ(3)を参照。

## (5) 今後の課題

- ① 九州支部の活動ならびに組織運営が持続可能な活動となる
- ② 会員各々の役割に応じた、一人ひとりが輝ける場を意識した活動
- ③ 社会の潮流や兆しを分析し、会員企業のみならず社会が求める公開講座・月例研究会の実施
- ④ 会員拡大

## II. 組織

2020年度は、以下の役員および運営グループ等にて運営を行い、理事会を実施し具体的な活動に取り組んだ。

### 【役員】

代表理事	吉村 美衣子	損害保険ジャパン株式会社
副代表理事	鈴木 聖子	明治安田生命保険相互会社
副代表理事	中村 尚美	日新製糖株式会社
理事	影田 明日香	アンデルセン・パン生活文化研究所
理事	篠 かおり	アフラック生命保険株式会社
理事	丹野 富美恵	富国生命保険相互会社
理事	藤脇 智恵子	第一生命保険株式会社
理事	脇田 真知	一般財団法人サンスター財団
関西支部		
支部長	木谷 あゆみ	イカリ消毒株式会社
九州支部		
支部長	難波 裕扶子	南日本ハム株式会社
監事	有富 菜穂子	株式会社 Mizkan Holdings
監事	林 真由美	アサヒビール株式会社

### 【運営グループ担当理事】

企画グループ	リーダー	吉村 美衣子
研究会推進グループ	リーダー	鈴木 聖子
組織の活性化を図るグループ	リーダー	丹野 富美恵
調査グループ	リーダー	中村 尚美
広報グループ	リーダー	藤脇 智恵子
関西支部	支部長	木谷 あゆみ
九州支部	支部長	難波 裕扶子

### 【会員数】2021年3月31日現在

正会員	64名
うち関西支部	9名
うち九州支部	5名
休会	0名
個人会員	5名
賛助会員(法人)企業数	27社
賛助会員(個人)	8名
特別会員	23名

### 【事務局】

〒151-0053  
 東京都渋谷区代々木2丁目30番4号C-002  
 TEL03-6869-0428 Fax03-6300-6555  
 URL <http://www.heib.gr.jp>  
 E-mail: [heib-jimukyoku@heib.gr.jp](mailto:heib-jimukyoku@heib.gr.jp)  
 助川文緒

## 2020年度 収支決算報告書

自 2020年 4月 1日  
至 2021年 3月 31日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

### 1. 一般会計

#### <収入の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前 期 繰 越 金	951,638	951,638	0
会 費			
正 会 員	3,900,000	3,810,000	90,000
個 人 会 員	108,000	90,000	18,000
小 計	4,008,000	3,900,000	108,000
入 会 金			
正 会 員	90,000	30,000	60,000
個 人 会 員	0	0	0
小 計	90,000	30,000	60,000
賛 助 会 費			
法 人	1,700,000	1,580,000	120,000
個 人	250,000	85,000	165,000
小 計	1,950,000	1,665,000	285,000
雑 収 入			
預 貯 金 利 息	0	89	△ 89
特 別 例 会 費	515,000	34,000	481,000
そ の 他	358,000	320,700	37,300
小 計	873,000	354,789	518,211
収 入 合 計	6,921,000	5,949,789	971,211
総 合 計	7,872,638	6,901,427	971,211

<支出の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
活 動 費 (東京・関西・九州合計)	2,889,000	1,034,141	1,854,859
東京	1,760,000	830,069	929,931
企画活動	250,000	10,038	239,962
研究会推進活動	700,000	204,231	495,769
組織の活性化を図る活動	44,000	5,500	38,500
広報活動	741,000	610,300	130,700
調査活動	25,000	0	25,000
関西	656,000	107,562	548,438
九州	473,000	96,510	376,490
運 営 費	3,732,000	2,801,627	930,373
地代家賃	554,400	554,400	0
人件費	1,750,000	1,399,190	350,810
税理士報酬	367,200	367,200	0
運賃・通信費	360,000	237,162	122,838
交通費	210,000	19,105	190,895
会議費	10,000	3,850	6,150
消耗品費	140,000	76,045	63,955
印刷費	160,000	22,219	137,781
支払手数料	60,000	35,970	24,030
交際費	10,000	0	10,000
租税公課	100,000	86,486	13,514
雑費	10,400	0	10,400
支 出 合 計	6,621,000	3,835,768	2,785,232
当 期 剩 余 金	1,251,638	3,065,659	△ 1,814,021
総 合 計	7,872,638	6,901,427	971,211

## 貸借対照表

2021年 3月 31日現在

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

(単位：円)

資産の部		負債及び剰余金の部	
現金	26,998	預り金	41,722
普通預金	10,748,236	未払費用	152,498
未収入金	17,700	前受金	839,000
電話加入権	72,800	基本金	6,601,855
保証金	35,000	調査費積立金	200,000
		前期繰越正味財産額	951,638
		正味財産増加額	2,114,021
合計	10,900,734	合計	10,900,734

## 正味財産増減計算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 資産増加額	-
増加額合計	-
II 減少の部	
1. 資産減少額	
周年記念事業費	2,000,000
ホームページ構築費	200,000
減少額合計	2,200,000
当期正味財産増加額	2,114,021
前期繰越正味財産額	951,638
合計額	865,659

## 財産目録

2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金手許有高	26,998	未払費用 3月給与	152,498
普通預金 三菱UFJ銀行原宿支店	10,308,180		
〃 〃 (関西支部)	166,237	前受金 翌期会費	839,000
〃 ゆうちょ銀行 (九州支部)	273,819	預り金 源泉所得税	41,722
未収入金	17,700		
流動資産合計	10,792,934	流動負債合計	1,033,220
2. 固定資産			
保証金 Y. C. S	35,000		
電話加入権	72,800		
固定資産合計	107,800		
資産合計	10,900,734	負債合計	1,033,220



## 監査報告書

定款第32条より2020年度の会務並びに会計につき監査を行った結果、

下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 会務は滞りなく運営され、予算の執行状況は適正である。
2. 現金、預金については適正、確実に管理保管されている。
3. 帳簿および証拠書類は正確に記入、保存されている。

2021年4月5日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

監事 有富 菜穂子 

監事 小野 真由美 